

清流の辺

令和5年11月1日
丹波中学校 学校だより
校長 古屋 修宏

丹波山小菅音楽祭

10月27日(金)、丹波山小菅音楽祭が、本校体育館にて行われました。

当日は、丹波山村・小菅村の小・中学校児童・生徒が大勢本校にみえ、楽しくにぎやかな時間となりました。こうした参集型での開催は、令和元年以来、4年ぶりとのこと。

音楽祭は「まつり」の字のごとく、上手かどうかではなく、それぞれの音楽表現を尊重し合うこと、多様性を認め合うこととの考えのもと、行われました。本校の発表も、練習の成果が観客の皆さんに伝わったのではないかと思います。

また、特別演奏として、プロの音楽家の方々（高島千香さん、白石彩音さん、tonさん）が、ミニコンサートを行ってくださいました。ピアノあり、バイオリンあり、タップダンスありと、枠にとらわれない音楽の楽しみ方を、教えていただきました。

講師 高島先生からいただいた講評

♪ 合唱「いつまでも」

5人でも、しっかりと声が届いていました。歌詞の内容も相まって、皆さんの気持ちが良い伝わってきました。素敵なアンサンブルでしたよ。

♪ 合奏「美女と野獣」

こちらも名物とも言うべき、学校一丸となつてのアンサンブル。上品で大人の演奏で、安心して聞くことができました。

♪ 総評

仲間との合唱、先生方と一緒にの合奏、一生の思い出ですね。うらやましい。



丹波中生 発表の様子

コミュニティ・スクール会議が行われました

10月31日(水)、第2回学校運営協議会が行われました。

コミュニティ・スクールとしての中間まとめの確認と、3つの柱（自然体験・伝統文化継承・地場産業特産品）と運営体制について熟議が行われました。

熟議では、委員の皆さんから成果と課題が多く出され、これからの丹波小中学校をよくしていくうえで、参考となる意見をいただきました。

保護者・地域とともにある学校、地域に開かれた学校を目指しております。今後も随時、御意見をお届けいただき、多くの皆さまが、丹波中学校の運営に関わっていただけますようお願いいたします。



熟議の様子